

▶日光橋西線・穂波通線交差点信号点灯式で渡り初めを行っ子どもたち(3/29)



3月定例会

3月定例会を5日から22日までの会期で開きました。

市長から19年度一般会計予算など31議案が、議員から会議規則の一部改正など2議案が提出され、原案通り可決しました。
一般質問には15人が登壇しました。

平成19年度予算

一般会計141億1000万円(前年度対比16・1%増)と国保など6特別会計を併せた243億4138万円(前年度対比12・9%増)が計上されました。
主な事業は、十四山西部児童クラブ整備事業や弥富中学校移転改築事業などです。

質疑

質疑(浅井議員)

- (1) 十四山西部児童クラブ整備工事請負費の内容は。
- (2) こんにちは赤ちゃん事業の内容と計画は。

- (3) 自転車預費補助金で、弥富市外の駅(蟹江駅)は含まれているか。
- (4) スクールカウンセラー等報償費の活動内容は。

答弁(児童課長)

- (1) 建築場所は、十四山西部小学校の敷地内で体育館の南側を予定していて、軽量鉄骨造り2階建て、定員は、約50名で、主な部屋は、プレイルーム・事務室・湯沸室・物置・便所などである。

答弁(健康推進課長)

- (2) 子育てのストレスから虐待に走るリスクが高い子育て初期の親の不安を和ら

おもな内容

定例会の審議内容

19年度予算……2～5
議会人事の改選……6

一般質問(15人) 7～21

やとみフラッシュ……22

表紙の説明

3月31日と4月1日の両日、文化広場でやとみ春まつりが開催されました。晴天に恵まれた会場では、ミス発表会やキャラクターショー、ミニSLコーナーなど、多彩な催しが行われました。



19年度予算

総額243億4,138万円

全員賛成で可決

げ、未然に防ぐことは重要で、一人で悩まないように、生後4カ月までの乳児がいる家庭を子育て経験のあるベテランママが訪問し、行政サービスの情報を届けながら、子育ての不安感を和らげ安心してもらうための支援事業である。

答弁（教育部長）

(3) 放置自転車対策事業の一環として実施していて、市内の有料自転車預かり所を利用して9カ月以上預けている通学者の保護者に対し、年5000円補助するもので、蟹江駅周辺の自転車預かり所の利用者は対象



▲保健センターへ予防接種に訪れた親子

外である。

(4) いじめ・不登校等児童生徒の問題行動の未然防止・早期発見・早期解決を図るもので、児童生徒の相談はもちろん、保護者や教職員の相談や、いじめ不登校等対策委員会・生徒指導部会等にも参加し、問題行動について適切な対応策の意見交換を行うものである。

質疑（成瀬議員）

不審者情報などのメール配信事業の内容は。

答弁（教育部長）

緊急時や不審者情報・学校の日程等学校からの一斉配信や、運動会や遠足など

天候に左右されやすい行事の確認、宿泊行事における経過報告等保護者からアクセスして情報入手することができ、4月から本格運用に入っていきたい。

質疑（佐藤良行議員）

(1) 新市発足後2年目を迎える年だが、何人がベターか。また、人件費は何%がベターと考えるか。

(2) さらに企業誘致の具

体策はあるか。

(3) バランスシートおよび行政コスト計算書の作成は。

答弁（総務部長）

(1) 県内の類似市と比べてみても、適正な人員であると認識し、19年度一般会計予算の人件費は、構成比20%で、県内の市町村の構成比の平均は20・1%であり、平均的な状況である。

答弁（市長）

(2) 富浜で誘致を終えた隣地の約6haが整備され次第、貸付地として企業誘致を図る。

また、楠では、第一貯木

場埋立地の約12haが都市計画の手続きが進められ、道路等の基盤施設整備が終われば、土地分譲の企業誘致が図られると思う。

名古屋港管理組合と連携を強化し、本市に新設工場が誘致できるよう努めたい。

答弁（総務課長）

(3) バランスシートは、資産・負債・資本の残高を総括的に対照表示するもので、それらを分析し、今後の財政運営の健全化に活用し、他の地方公共団体との比較に役立てていく予定である。

行政コスト計算書は、行政活動の中で大きな比重を占める人的サービスや給付サービスなどの行政サービスについて、1年間の提供の状況を分野別・性質別にコスト面から把握し、これらに要した財源の状況を明らかにするものである。

質疑（黒宮議員）

(1) 市長は、助役、教育長の登用についてどう考えているか。

(2) 弥富中学校の移転スケ

ジュールは。

(3) 弥富中学校のシンボル「おみよしの松」を移転開校に合わせて植樹してもらいたい。

答弁（市長）

(1) 助役、教育長とも重責なため、人事の刷新も頭に入れながら、仕事をしてもらいたい。

(2) 生徒や職員に、少しでも早く安全な校舎で勉強してもらおうよう、19年12月までに完成をし、冬休みに引越しをして、3学期から使用したいと考えている。

なお、現在の校舎は20年3月末までに解体撤去する予定である。

(3) おみよしの松の一部を移植したいと思っている。今回の工事費の中にも盛り込んでいる。

質疑（安井議員）

(1) 第3子以降の2歳児保育まで県の方針に沿って、保育料を無料化にしてみたい。

(2) 給食サービスについて、利用者の声を聞く手立てを



▲弥富中学校のシンボル「おみよしの松」

取って、利用者に喜ばれる給食サービスにしてみたい。

(3) 介護予防事業の問題点と今後の方向は。

答弁（児童課長）

(1) 県が子育て支援策として、先の県議会で3人目以降の2歳児まで保育料無料化の計画があると発表があったが、詳細については未定で、よく情報を確認し対応していきたい。

答弁（介護高齢課長）

(2) 給食サービスを週1回から週5回とし、利用者に喜んでいただけるサービス

にするためアンケートの実施を検討していきたい。

(3) 国の予想よりも特定高齢者の出現が少ない状況の中、潜在的な地域における虚弱高齢者をいかに把握していくかが課題で、介護が必要になってから介護保険

を利用するのではなく、介護にならないために何が必要かなど、市民一人ひとりが意識を持つて取り組むことの必要性を啓発し、高齢者を地域で支えていく仕組みづくりが必要である。

質疑（杉浦議員）

(1) 市民参画と行財政改革

の推進で、市まちづくり会議について、その趣旨に大いに賛同し、実りあるものにしてもらいたい。が、実施計画の概要について聞きたい。

(2) 利用者が病院の窓口で人間ドックにかかる実費を全額支払い、後から補助金を払い戻すのではなく、人間ドック費補助金を病院窓口で引いた額だけ支払えばいいという方法に改善できないか。

答弁（市長）

(1) 各種産業、教育、福祉などの団体代表者の方とともに、住民参画の一環としてグループ形式で市のまちづくり委員会で提言していきたい。

答弁（健康推進課長）

(2) 人間ドックを受診される方に、どの程度受診料がかかるかを認識してもらい、海南病院以外の病院でも人間ドックが受診できるように対応していくためには、補助金という方法がよいと考え、そのように進めている。

質疑（三宮議員）

行財政改革の推進に関して、民間委託は、地域の活力を阻害したり、フルタイムで働いても最低生活を維持できないような事態を招かないようにするとか、市民のプライバシーが、外部に流出しないようにする慎重な配慮を求めるがどうか。

答弁（市長）

行政の守備範囲や役割、行政にしかできないこと、民間に委ねることによって効率化を図っていかねればいけないと思う。

また、情報の保護や守秘義務の確保に十分留意し、必要な措置を講じていく。

質疑（原沢議員）

合併してシルバー人材センターへの仕事の発注が減った。市長の見解を聞かせてほしい。

答弁（市長）

元気に社会参加できる環境を整え、会員の増加促進や職種、職域の拡大を図り、シルバー人材センターの活動を引き続き支援していきたい。



▲シルバー人材センター会員による剪定作業

たい。

なお、市としてもシルバー人材センターへお願いできるものは、極力利用していきたい。

討論

賛成討論（三宮議員）

今回初めて新年度予算案に賛成することにしたので、その理由を述べたい。

施政方針、および本会議と委員会で示された、計画的、効率的、効果的な財政運営により市政の刷新を図る、社会的弱者、障害者を支援し、きめこまやかな福祉対策に取り組むなど、議会、市民等の知恵を借りな

がら市政運営を進めていきたいという市長の立場を市政運営の中で貫き通すことを強く求め、賛成する。

採決

全員賛成で可決

介護保険特別会計 補正予算の件

介護保険の制度改修および医療制度改革によるシステム改修に伴うものです。

質疑

質疑（三宮議員）

当初の給付見通しをかなり下回り19年度も給付費一

般財源の伸びと保険料収入の伸びがほぼ等しい。給付費との割合で決まる保険料であるから値下げを検討するべきではないか。

答弁（介護高齢課長）

保険料は、3年を単位とした事業運営期間ごとに、介護保険事業計画に定めるサービス費用見込み額に基づき、事業運営期間を通じて財政の均衡を保つことができるよう設定されていて、本年度は、計画に比べて下回る見込みだが、保険料率を変更する考えはない。

採決

討論なく全員賛成

工事請負契約

弥富中学校屋内運動場移転改築・武道場等建築工事

について、3名による一般競争入札の結果、9億5550万円で戸田・大栄・佐藤特定建設工事共同企業体と請負契約を締結するものです。

質疑・討論なく全員賛成

市長の給料の特例の特例の制定の撤回の件

3月5日に市長から市長の給料の月額を20%削減する議案が提案され、佐藤良行議員から質疑がありましたが、総務委員会で審査された結果、賛成少数で了承されず、3月22日の継続議会で本議案が撤回され、期末手当も含めて減額する条例が同日新たに提案されました。

討論

賛成討論（山本議員）

市長は、大変勇気ある決断をされたと感銘する。

議会は市民の思いと、議員の思いを一体として進めていく場所であり、市長は、民間企業に長くみえて多くの経験を踏み、これらの経験を、行政に生かし、行政運営に自信を持ってあたっ

てもらいたいと思います。

市長の給与の特例に関する条例の制定の件

市長の給料および期末手当を減額するものです。

質疑・討論なく全員賛成

人権擁護委員

任期満了に伴い、後任の候補者を推薦しました。

伊藤 功 氏

（59歳・五之三）

